

3の3 総合（文化領域）学習指導案 第2日1限 家庭室 授業者 森田 誠

1 単元名 和菓子はカレンダー

2 目標 ・伝統的に受け継がれている行事と結びついた和菓子をさがしたり調べたりすることで、和菓子や行事にこめられた人々の思いに気づく。

3 指導にあたって
学習材について

日本には歴史の中で受け継がれてきた様々な行事がある。正月、節分、端午の節句、彼岸、秋祭りなどの年中行事や、誕生、七五三、入学、成人、結婚、長寿祝い、葬礼などの人生の節目の行事である。このような行事に我々は、喜びや悲しみ、願い、祈り、感謝などの思いをこめ、それらの思いを家族や親族、地域の人たちとともに分かち合ってきた。そして、これらの行事と結びついた和菓子が存在してきた。お彼岸のおはぎや端午の節句の柏餅、七五三の千歳飴などである。

同様なものは、和菓子処といわれる金沢にも多数存在する。正月の福梅、雛祭りの金花糖、婚礼祝いの五色生菓子、安産祈願のころころ団子などである。

我々の先祖は、様々な行事の折に、和菓子を家族とともに作り、あるいは買い求め、それを食したり、親族や地域の人々に配ったりすることで、思いの共有化を図り、つながりを深めてきたのである。

しかし、現在、行事の形骸化が進み、家族や親族、地域の人々のつながりも薄れつつある。子どもたちにとっても、核家族化や少子化、都市化などにより、家族や親族の数も減り、地域社会のつながりも希薄になった今、多くの人とともに行事にかかわり、思いを分かち合うことも少なくなってきた。

このような時代においてこそ、受け継がれてきた行事やそれにかかわる文化としての和菓子を、人々の思いという視点で見つめ直すことは、人々の思いが文化の中にこめられ、習慣として受け継がれている日本文化のよさに気づく上でも意義のあることではないだろうか。

学びを広げ深めるために

① 行事と結びついた和菓子について話を聞いたり調べたりする場を設ける

本単元では2つ共通の体験的活動を考えている。1つめは、単元の導入場面で和菓子店の方を招き、行事と結びついた和菓子について、製造過程を見たり話を聞いたりする活動である。ここでは、行事と結びついた金沢の和菓子として、五色生菓子などの製造過程を見せていただいたり、それらの和菓子を味わったり、その由来を聞いたりする。

子どもたちは、前単元で季節を感じる和菓子に出会っている。暑い夏に涼しさを感じさせる水まんじゅう、葛きりなどである。それらの季節を感じる和菓子とも比較することにより、行事と結びついた和菓子の存在や、それらにこめられた人々の思いに気づくことだろう。

2つめは、我が家の和菓子調べとその紹介である。自分の家庭では、どんな行事のときに和菓子を食したり、配ったりいただいたりしているのかを調べ紹介し合う。家族へ聞き取ることにより、我が家の行事と和菓子について見つめ直したり、他の家庭とくらべることにより、家庭や地域によってちがいがあつことに気づくだろう。

単元計画（総時数13時間+課外）

主な活動と内容	学びを広げ深めるために
1 和菓子店の方から行事と結びついた金沢の和菓子について話をうかがい 感じたことを話し合う ・和菓子には行事と結びついたものもあるんだ さがしてみたいな	①
「行事と結びついた和菓子」を見つけよう	
2 我が家の和菓子調べを紹介し合い 関心に 応じて調べる内容や方法を計画する ・家庭によってちがうものだな ・調べることが決まったよ 年中行事の和菓子を 節目の和菓子を 金沢の和菓子を 日本各地の和菓子を 和菓子や行事にこめられた思いを	① ③
3 計画にしたがって「行事と結びついた和菓子」を調べる	②
4 調べたことを和菓子カレンダーなどにまとめる ・どのようにまとめようかな 年中行事カレンダーで 人生の行事カレンダーで	②
5 交流会を開き これまでの活動を振り返る	

これらの活動を通して、金沢には、また日本の各地には、どんな行事と結びついた和菓子があるのだろうか、どんな思いがこめられているのだろうかという、個々の問題意識や追求意欲へ発展することを期待している。
→問題意識が追求意欲へと発展する姿

② 関心に応じて追求する内容や紹介する方法を選択できるように、学びの個性化を推進する

行事と結びついた和菓子に関する問題意識といっても、その対象や内容は個々の子どもによって様々である。年中行事にかかわる和菓子、人生の節目の行事にかかわる和菓子、金沢の和菓子、日本各地の和菓子、和菓子や行事にこめられた思いなどである。そこで追求する対象や内容はもちろん、紹介する方法についても、個々の関心や得意分野・紹介する内容にあわせ、選択の幅を広くもたせたい。
→関心に応じて追求内容や紹介方法を選択する姿

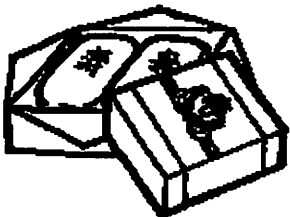
③ 学びの個性化に合わせて学習環境を整備する

本単元の追求活動は、自分の家庭を見つめ直すところから本格的に始まる。同じ金沢に住んでいると言っても、金沢に長年住む家庭もあれば、移り住んできた家庭もあり、行事に関する習慣も様々であろう。各家庭に協力を呼びかけ、それぞれの家庭の習慣があらわれる調べ活動ができるように協力を呼びかけていきたい。また、追求活動が家庭から地域社会などへと発展するように、和菓子店や和菓子組合、和菓子に関する書籍やホームページを紹介していきたい。
→追求を家庭から地域などへと広げ発展させていく姿

4 本時の学習 (1 / 13時)

ねらい 五色生菓子の製造過程を見たり、その由来を聞いたりすることで、和菓子には行事と結びついたものがあることに気づき、それらを見つけようという意欲を持つ。

本時の展開

主な活動と内容	教師の働きかけ
1 五色生菓子の製造過程を見たり味わったりする ・ 餡がお餅にすばやく包まれていくよ ・ 赤い粉が付けられたよ ・ 食べたことあるよ 結婚式のときにももらったんだ ・ お餅はやわらかくて餡は甘くておいしいね	
2 五色生菓子と秋の和菓子を比べ話し合う ・ 同じ和菓子でもずいぶんちがうね こっちは秋らしさを感じるね ・ 五色生菓子は なぜこんな形や色なのかな	和菓子の意味合いのちがいに気づくように 視覚的に秋を感じさせる和菓子と比較する場を設ける
3 五色生菓子の由来を聞き 行事と結びついた和菓子について話し合う ・ 太陽と月 山海里の幸を表しおめでたいから 結婚式に配るそうだよ 人生の大切な行事の和菓子だね ・ 金花糖は雛祭りの和菓子だそうだよ 年中行事の和菓子だね (または 月見団子 お彼岸のおはぎ)	次時からの行事と結びついた和菓子調べが 自分の生活とかわり深いものとなるように 各家庭の様子を問うようにする
<行事と結びついた和菓子はないだろうか>	
七五三の 千歳飴 お正月の 福梅 端午の節句 の 柏餅 お月見の お団子	
行事と結びついた和菓子をもっと見つけてみたいな	

6年 総合（文化領域）学習指導案

第2日1限

6年オープンスペース

授業者 草鹿 万里 小林 弘二
吉川 昌博 沢野 景子

1 単 元 名 BUNKA メッセージ from kanazawa

2 目 標

- ・さりげなく生活にとけ込んでいる金沢の伝統文化について調べたり交流したりすることで、ふるさと金沢のよさを実感することができる。
- ・金沢ならではの文化のよさを、さまざまな方法で他者に伝える活動を通して、よさを再認識し自らも大切に守っていきたいと考えることができる。

3 指導にあたって 学習材について

古都金沢は、京都と並び日本らしさを町のあちらこちらで感じることができる、言いかえるなら伝統文化が今も息づいている町というイメージを持ち、観光名所としても名高い。

人々を魅了する金沢の伝統文化といえば、例えば加賀友禅や金箔などの伝統工芸。四季の変化を感じさせる和菓子や料理。兼六園や武家屋敷などである。

これらは観光客にとっては、お土産であったり鑑賞するものであったり、あるいは美食として喜ばれたりするものである。ではこの金沢の地に住むものにとってはどうだろうか。実は日々の暮らしの中にさりげなくとけ込んでいる文化がいくつもある。例えば、子供の成長や婚礼を祝う時の菓子や料理や着物など、どれも生活に密着したものである。しかし、子どもはこの身近なるがゆえに文化を意識してはいないであろう。

子どもは前単元の「世界の料理」で、外国の食文化をきっかけにして三国の文化について学習した。まず、各クラスそれぞれが三国のゲストティーチャーに代表的な料理を教してもらい一緒に食事をした。この体験を通してその国特有の食材、スパイス、調理器具、盛り付け方、食べ方などを知り、その国の食生活や暮らし方をうかがい知ることができた。その後子どもはその国の歴史、国内情勢、地理、自然、産業など、自分が興味を持ったことについて調べ、最後に三クラスで交流の場を持った。この活動で、その国にとってはどの料理も食べ方も生活習慣も特別なことやものではないことに気がついていった。またその国の文化は気候や地理的なもの、あるいは歴史的背景に大きく影響され、生まれるべくして生まれた文化であることにも気がつきはじめた。

この学習を終え子どもは文化に対して大きく目が開かれ、本単元では自分のふるさと「金沢」の文化のよさを意欲的に調べ追求していく姿が見られると考えている。金沢を愛してやまない方々の話を聞いたり、実際に伝統文化を体験したりすることで子どもは身近な文化のよさに気づくであろう。また、友達と交流し合いさらにもっといろいろな人に金沢のよさを知ってもらいたいと他校に発信する活動を通してよさを再認識できると思われる。この単元を構想するにあたって、子どもがさまざまな文化が生活に潤いをもたらしていることに気がつき、心地よさを感じ自らもこの文化のよさを守っていきたい、また生活にも取り入れていきたいと一人一人の心に想いが膨らんでいくことを期待している。

単元計画（総時数 12時間）

主な活動と内容 [学びを広げ深めるために]

- 1 金沢の文化について調べる
 - ・外国にはその国特有の文化があったね
 - ・自分たちが住む金沢はどうか
 - ・自分の身の回りに金沢の文化といえるものはあるだろうか

生活の中にある金沢の文化について
調べ 考えてみよう
- 2 金沢で生活する中でそのよさを感じ金沢を愛している方々のお話を聞き、調べてみたい課題を持つ ①②
 - ・金沢にしかない料理がこんなにあったのか
 - ・どの文化も金沢の地形や歴史に深く関わっているようだ
 - ・まだ自分が知らない金沢がありそうだ
- 3 課題別グループに分かれ調べ 交流し まとめる ②③
 - ・私たちは食文化について調べよう
 - ・なぜ金沢で友禅なのか、わかったよ
 - ・壁新聞にしてわかりやすくまとめよう
 - ・実際お店に行ってもっと話を聞いてみよう
 - ・ビデオやインターネットを使って 他校に知らせたいなあ
- 4 「ぼくたちのふるさと金沢」を発信する ②③
 - ・金沢には生活にとけ込んだ素敵な文化があるんだ
 - ・僕たちもこの文化を大切にしていきたいね

学びを広げ深めるために

① 身近な文化を見直しそのよさに気づく体験的活動を取り入れる

本單元では、次のような体験的活動を考えている。金沢の食文化や芸能に精通している人や金沢に移り住んできた人の話を聞く活動である。これは、そういう人の話を聞くことを通して金沢のよさに気づき、金沢の文化について自分なりの課題を持つためのものである。

→金沢の文化を見直し追求課題を持つ姿

② 関心に応じて追求する内容や紹介する方法を選択できるように、学びの個性化を推進する

本單元では、金沢の文化が身近な生活に息づいていることに気づいてほしいと願っている。そのために、生活の中の金沢の文化の存在を再認識し、さらに金沢の文化にくわしい人から、金沢の文化のよさと文化が息づく金沢のよさを聞くことにした。そうすることによって、聞いた話の中や聞いた話以外にも文化のよさがありそうだとすることに気づき、たくさんある文化の中から自分が追求したいものを選択できると考えた。また、発信の段階でも、自分たちで考えた発信の仕方やまとめ方を選択させたいと考えている。

→関心に応じて追求内容や方法を選択する姿

③ 学びの個性化に合わせて学習環境を整備する

子どもが、それぞれ追求課題をもって活動する場面であらたな体験的活動への思いが生まれることも考えられる。その活動が実現できるように保護者に協力を要請したい。また、発信する相手を決めることで、個々が追求した内容を相手意識を持って発信しようとするであろうし、相手に評価してもらうことで意欲もわくと考えている。

→主体的に体験的活動を発展させる姿

4 本時の学習 (3/12時)

ねらい 金沢の文化によさを見出している人の話を聞く体験を通して、金沢の文化について自分なりの課題を持つことができる。

本時の展開

